

資料 エス・バイ・エル具体的な提案内容(一部抜粋)

[基本的な考え方]

エス・バイ・エルの長期優良住宅先導的モデル事業は、新築時の長寿命構造をベースとして、住まい手と共に住宅の長寿命化が図れるよう、何世代にも渡って「長く住み継がれていける家」のハード・ソフトを含めたトータルシステムを目指した。特に木質系の建物として構造躯体の劣化については築30年近くの構造躯体の調査データ及び技術の蓄積から独自の劣化診断手法を開発して定期点検に活用できるようにした。これらのことを導入して、きめ細かく永続的にサポートして家のある限り生涯に渡って保証する「生涯サポートシステム」を確立した。

項目	考え方	具体的な提案
I. 長寿命構造と仕組み (劣化対策・維持管理・維持保全計画)	1) 新築時に木質構造材の耐久性を飛躍的に高め、建物完成後も劣化を防止 2) 床下・小屋裏以外に外壁構造躯体についても定期点検して維持管理 3) 劣化部分の構造躯体の補修 4) 上記1)～3)によって超長期に保証を継続	・木質構造パネルの含水率管理 ・防腐防蟻剤処理及び高耐久材料等の採用 ・防湿対策 ・二重通気構造 ・高耐久化システム技術(LOOP) ・定期的な劣化診断 ・木質パネル構法独自の補修 ・住まいの生涯サポートシステム
II. 安全性 (耐震性・防耐火性)	1) 大地震に対して構造躯体の損傷を少なく 2) 火災・台風等に際しての安全性確保	・耐震等級:倒壊・損傷共に等級3 ・耐風等級:等級2
III. 住戸空間の可変性	1) 1階躯体天井高を間取り変更等容易にする高さに確保 2) 高強度耐力壁により内部空間の可変性を高める	・1階躯体天井高:2700mm以上 ・耐力壁は全て設計倍率4.7